

## 人脈が飛躍的に拡大 課題解決法もゲット

「根力育成プログラムをお勧めします！」

人文コミュニケーション学科 4年 星野由季菜

「新しいことにチャレンジしたい」、「就職活動などで話せるネタがほしい」。



そんな学生にお勧めしたいのが学部共通プログラムとして開講されている「プロジェクト実習」です。これを通して磨かれるのはズバリ「根力」、いわゆる就業力です。1年完結型（2単位）として開講されています。

受講者は個々の興味・関心の下にチームを結成、課題や目的を設定し、外部との連携、交渉、資金調達などを担当することになります。

2014年度は、①水戸市泉町2丁目商店街振興組合との連携で街の活性化を目指す「[イズミイル](#)」②常陸太田市との連携で里美地区の魅力を発掘する「[さとみ・あい](#)」③茨城キリスト教大学との連携で留学生、高校生らとの異文化交流に取り組む「[ICE](#)」④水戸市役所、茨城交通との連携でバスの利用促進を支援する「[公共交通](#)」⑤水戸市役所との連携でイベント“こみっとフェスティバル”を企画・運営する「[こみ](#)

[フェス](#)」の5グループが結成されました。

進め方は独特で、チーム結成後は報告会やイ



2015年4月6日

イベントを除くと、授業として集まることはほとんどなく、各チームでプロジェクトの達成に向け活動します。

活動を通じて幅広い人脈を得ることができることが最大の特長でしょうか。取



り組みの中で、学生のみでは解決できない課題にぶつかります。そうした時に威力を発揮するのが社会人の知恵です。受講したからこそ出会えた社会人の方々は少なくなく、同世代からは得られない多くのことを学びまし

た。人脈がここまで広がる授業は他にはありません。

メールのマナーやイベントの企画・実施のノウハウ、課題解決の手法などを体得できるのも魅力です。報告会などでプレゼンテーションをする機会もあり、いわば社会人の疑似体験ができました。

ここで培った力や経験が自信となり、授業外で生かせ、自分の強みや弱み、力を発揮できる場面が徐々に分かってきました。将来を考えるに当たってとても参考になりました。チームメンバーとの深い絆も得



ることができました。1年の苦楽をともにした仲間は、今では特別な存在です。

履修する際に、留意してほしいのは、興味があり、情熱を注げるプロジェクトに携わるということです。プロジェクトによっては、ミーティングを頻繁に開催し、地域を訪問するなど必ずしも楽とはいえませんが、密度が濃く、多くのことを学べる、とても面白い授業です。他学部はもちろん常磐大学、茨城キリスト教大学の学生も受講できるので、新しい出会いもあります。まずは、授業説明会に足を運ぶことから始めてみてください。 (終)

